

教員業績

タケモト タツヤ

氏名 竹本 達也

職名	教授
専門分野	理論社会学、社会学説研究、組織社会学
学位	博士(人間科学)

学術論文・学会発表等

1998年 5月	連帯感情と公式構造——バーナード組織論における言説的意識へのまなざし——(単)<ソシオロジ 第43巻1号 91-107 社会学研究会>
2004年 3月	近代における国民国家生成と「努力」する家族——公教育・学校制度からみた「良妻賢母」——(単)<『社会学研究科紀要』4号 37-51 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
2005年 3月	「組織」を観察するということ——方法論からみたK. ワイクの批判的再検討を通して——(単)<四国学院『論集』116号 111-137 四国学院文化学会>
2008年 3月	キューバにおける社会意識—社会主義制度をとりまく現状からみた日本の課題—(単)<『社会学研究科紀要』8号 21-42 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
2009年 5月	21世紀ツーリズムのゆくえ(単)<『社会学研究科紀要』9号 33-43 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
2010年 12月	個人・組織・社会主義(単)<四国学院大学『論集』133号 23-38>
2012年 3月	アジアにおける宗教的営みの多様性をどうとらえるか(単)<文科省科研費補助金基盤研究B「アジアにおける精霊信仰の近代的変容」(研究代表者橋本(関)泰子)研究報告書147-60>
2012年 11月	パットナムのソーシャルキャピタル論の再検討(単)<『社会学研究科紀要』10号 20-46 四国学院大学大学院社会学研究科委員会>
2017年 2月	キューバにおける革命イデオロギーの希薄化メカニズム—宗教社会学の観点をを用いて—(単)<四国学院大学『論集』150号 46-72>
2020年 3月	個人化および私事化するソーシャルキャピタル(単)<四国学院大学『論集』158号33-60>

所属学会等

関西社会学会、日本社会学会、日本社会学理論学会